

EWI4000s OSのアップデート方法

このガイドではEWI4000sのOS(オペレーティングシステム)をアップデートする方法を明記します。

■OSのバージョンアップに必要なもの

・MIDIケーブル x 1本(市販品)

MIDIインターフェースとEWI4000s本体を接続するために使います。

・MIDIインターフェース(市販品)

パソコン側からMIDIを送信するために必要です。

・OSのファイル

EWI4000s用のOSファイルを用意して下さい。

ファイルは<http://www.akaipro.com/>からダウンロードできます。

・SMFプレイヤー(市販のシーケンサーソフトなど)

EWI4000sのOSアップデートファイルは、システムエクスクルーシブを含んだ、一般的な「スタンダードMIDIファイル(SMF)」です。このファイルをEWI4000s本体に転送する為に、SMFプレイヤー、もしくはシーケンサーソフト等が必要です。

・ Macintosh: Mac OS X

Mac OSXにおいては市販のシーケンサー、または、フリーウェアの"SysEx Librarian"がおすすめです。「SysEx Librarian」は以下のサイトからダウンロード可能です。

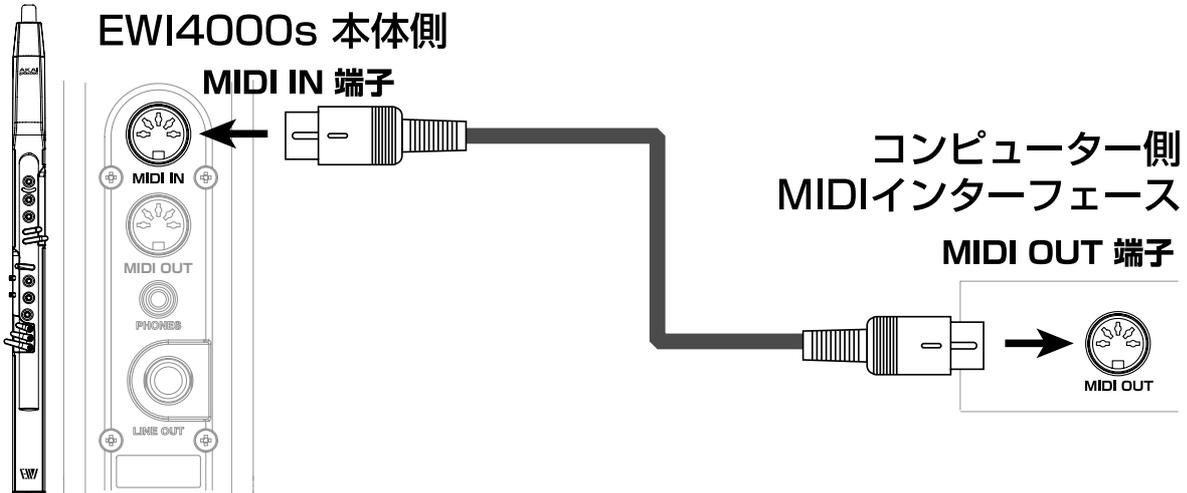
<http://www.snoize.com/SysExLibrarian/>

・ Windows XP

Windows環境においては「Windows Media Player 10」を使って送信する事が可能です。または、市販のシーケンサーをお使いください。

■接続のしかた

コンピューター側MIDIインターフェースの「MIDI OUT 端子」と、EWI4000sの「MIDI IN 端子」をMIDIケーブルで接続してください。



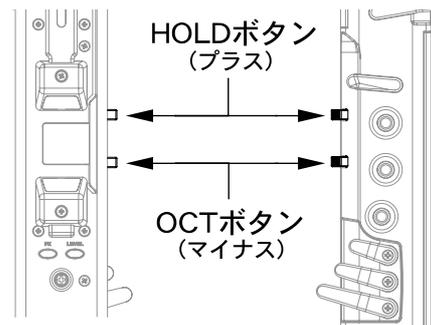
■MIDIインターフェース側の準備

ご使用のパソコンに接続されたMIDIインターフェースから、MIDI信号が確実に送信出来ているかをご確認下さい。MIDIインターフェースの設定等に関しては、お使いのMIDIインターフェースの取り扱い説明書をご覧ください。

■EWI4000s側の準備

- 1.) [SETUP]ボタンを押したままにします。
- 2.) [SETUP]ボタンを押したまま、[HOLD] / [OCT]ボタンを押して「UP」を選択してください。
- 3.) 「UP」を選択したら、[SETUP]ボタンを離してください。

[SETUP]ボタンを離すと、プログラム／データ表示部に2桁の数字（「10」や「11」など）が表示されます。この数字が、現在お使いのEWI4000sに搭載されているOSのバージョンとなります。



(本体裏側)

(本体表側)

■EWI4000sへOSファイルを送信する

- 1.) お使いのシーケンサーやSMFプレイヤーでOSファイル(「ファイル名.mid」)を開き、再生させます。

ファイルが再生され、EWI4000sがデータを受信すると、自動的にアップデートを開始し、プログラム／データ表示部がアニメーションを開始します。

注意:データ再生中は、シーケンサーの再生を途中で止めないで下さい!

- 2.) 送信が無事終了するとEWI4000sのプログラム／データ表示部にアップデート後のOSバージョンの数字が2桁で表示されます。

例えば、OSのバージョンが2.0であれば「20」という具合に表示されます。

- 3.) EWI4000sの電源を一度切り、数秒間置いた後に再度電源を投入して下さい。アップデートしたバージョンでEWI4000sをお使いいただけます。

※ 正常にアップデートが行われなかった場合、プログラム／データ表示部には「E」、「Er」もしくは「E1」といった表示がされます。その際は、EWI4000sとインターフェースとの接続、インターフェースの設定等をご確認の上、P.2「EWI4000s側の準備」から再度お試し下さい。